# 森羅番帳

「2008年9月発刊」

vol.3

vol.3
September, 2008
Shinra-bancho

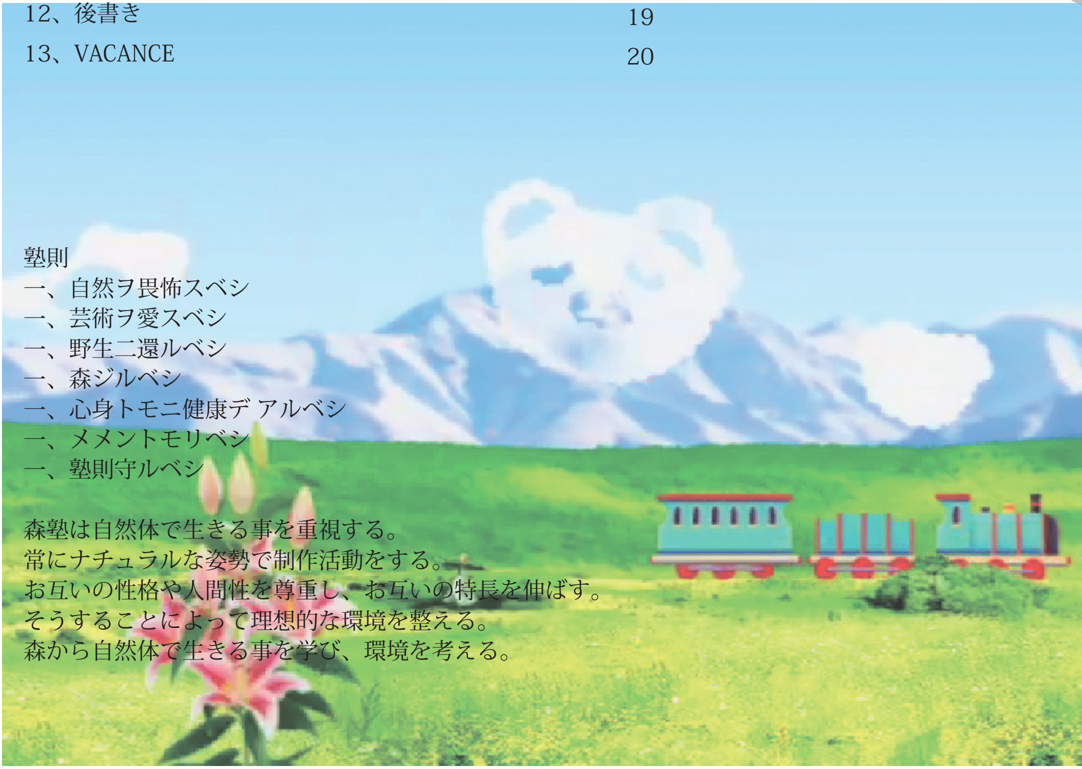
森羅番帳はアーティスト集団「森塾(しんじゅく)」の季刊誌です。」
Shinra-bancho is a journal issued quarterly of SHINJYUKU(artist group).

# 森羅番帳 vol.3

森羅番帳 vol.3

目次

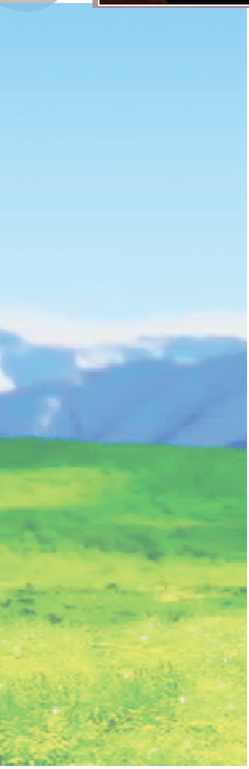

1、ご挨拶　3
2、自己紹介 ( 坂井亮円 )　3
3、宮坂直樹森塾プロジェクト ( 企画書 )　5
4、暗算的デザインと電卓的デザイン　　岩城浩司　6
5、水を運ぶアートワーク報告　8
6、文字のない日記　　武田歩　10
7、森塾活動情報　11
8、「芸術兄弟」独占インタビュー　三田村龍伸、渡邊敏文　12
9、森山雅智さんの Q&A　　森山雅智　14
10、愉快な森の仲間達　　廣瀬麻衣　17
11、海老名カイロプラクティック、THE　G　18
12、後書き　19
13、VACANCE　20

塾則
一、自然ヲ畏怖スベシ
一、芸術ヲ愛スベシ
一、野生ニ還ルベシ
一、森ジルベシ
一、心身トモニ健康デ アルベシ
一、メメントモリベシ
一、塾則守ルベシ

森塾は自然体で生きる事を重視する。
常にナチュラルな姿勢で制作活動をする。
お互いの性格や人間性を尊重し、お互いの特長を伸ばす。
そうすることによって理想的な環境を整える。
森から自然体で生きる事を学び、環境を考える。

↑三号の発刊を喜ぶ塾長 ( 右上 ) と岩城 ( 左下 )



## ご挨拶

三田村　龍伸

　森羅番帳も３号の発行となりました。森羅番帳とは、アートワークグループ「森塾」による、季刊誌 ( 今、あなたが読んでいるもの ) です。

　１号では発刊した事そのものを喜び、２号ではカラーになった事と、よりデザインがパワーアップした事を喜び、３号では続いている事に喜んでいます。３代目で家がつぶれるとか、３代目で衰退するというような言葉があります。これは続けることがいかに難しいかを物語っているように感じ、より自身を戒め、向上心を持ってやっていかなければならないなあと思います。

　さて、１号は自己紹介的な部分が多く、２号でもちょっと模索的な部分がありました。３号ではより自由に、より皆さんの個性が出るようにし、読み物としても楽しんでいただけるものになるよう、頑張っていきたいと思います。３号からは新潟県出身の坂井亮円さんという新メンバーを加え、益々賑やかになりました。

　では、お楽しみ下さい。

## 新塾生の自己紹介

坂井　亮円（さかいりょうえん）

1969 年 12 月 22 日新潟県生まれ。

お寺の長男として生まれ、お寺にて少年時代を過ごす。

しかしながら、体育が苦手だったことから、いじめにあい、短大時代くらいしかまともに学校に行った経験がなく、小学校、中学校時代は不登校で過ごす。高校には行ったが、4か月で退学。

その後大学入学資格検定の勉強を5年間して、途中18歳で心の病にかかる。しかしながら薬を飲みながら勉強し、大谷大学短期大学部仏教科に進学。進学に伴い、一人暮らしを始めたことにより、友人も出来て、急に明るい生活が訪れる。酒やタバコもこの頃に覚え始める。そして23歳で卒業。しかし、卒業時には歯の治療や精神科の治療も必要になった、進学も就職も出来ずに実家に戻り、いわゆるニートとなる。

大学の通信教育にも籍をおいたが、長く続かず、26歳で退学。

27歳のとき、弟と一緒に北海道を旅行。旅先で偶然出会った故、長谷川傳先生との出会いにより、アートに目覚める。傳先生の個展会場で、君このコンテで絵を描いてみたまえと言われ、5枚の葉書に自由に描く。先生は「魂が生き生きしている」と絶賛してくださり、その帰りにスケッチブックとコンテを買って絵を始めた。

そして、現代アートとはその後、3年たった30歳夏、ちょうど2000年の第1回の大地の芸術祭にこへび隊の一人として参加してから関わりを持つようになる。しかし、病の悪化には勝てず､会期中の8月11日に入院し、芸術祭の活動から手を引かざるをえなかった。

入院中に病院の作業療法というプログラムで、さまざまなアートの制作を1からやる。ビーズのアクセサリーや版画などやった。

そして2003年第2回の芸術祭には、病院からアングラハムさんのワークショップに参加し、作品スネークパスの一部に自らの作品を発表、かつ恒久設置となる。

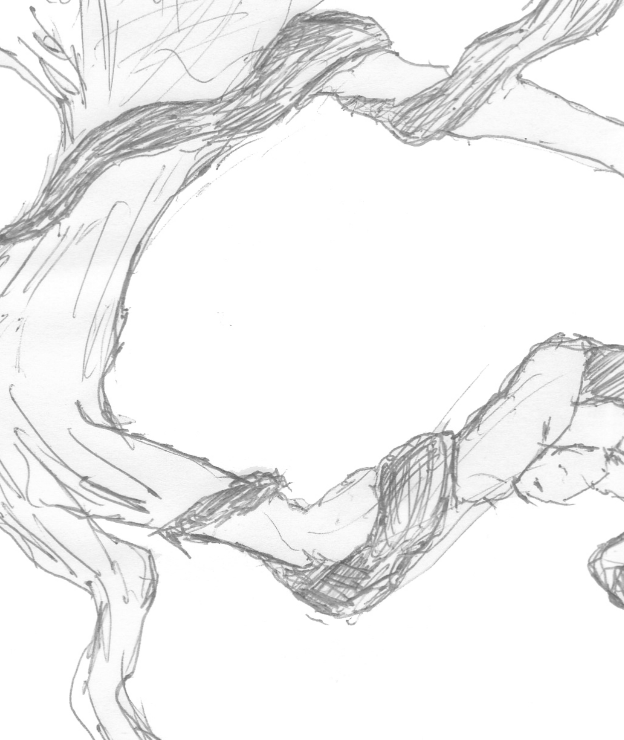
2005年4月20日病院を退院、自立のためにと実家には帰らず、障害者の社会復帰施設である夕映えの郷に入所、生活訓練施設「はまなす荘」で生活しながら、授産施設夕映え耕房で、就労訓練を受け、現在に至る。2005年には中越地震復興チャリティ展に参加。

2006年、2007年にはブルースカイプロジェクト、ピース＆ラブ展、城下町花ロードにそれぞれ2年連続で参加し、今年2008年も3つとも参加を検討中。2008年2月より、こへび隊の活動を復活、雪のアートプロジェクトで三田村龍伸さんと初めて出会う。

2008年5月森塾入会を申し込み、皆さんと仲良くお付き合いできたらと願っている。不器用で、おちょこちょいなところがあるが、森塾の皆さんとコミニケーション出来たらと願っている。コーヒーの大好きな38歳のハンドルネームアートボーイでもある坂井亮円をどうぞ宜しく。

2008年6月17日記す。

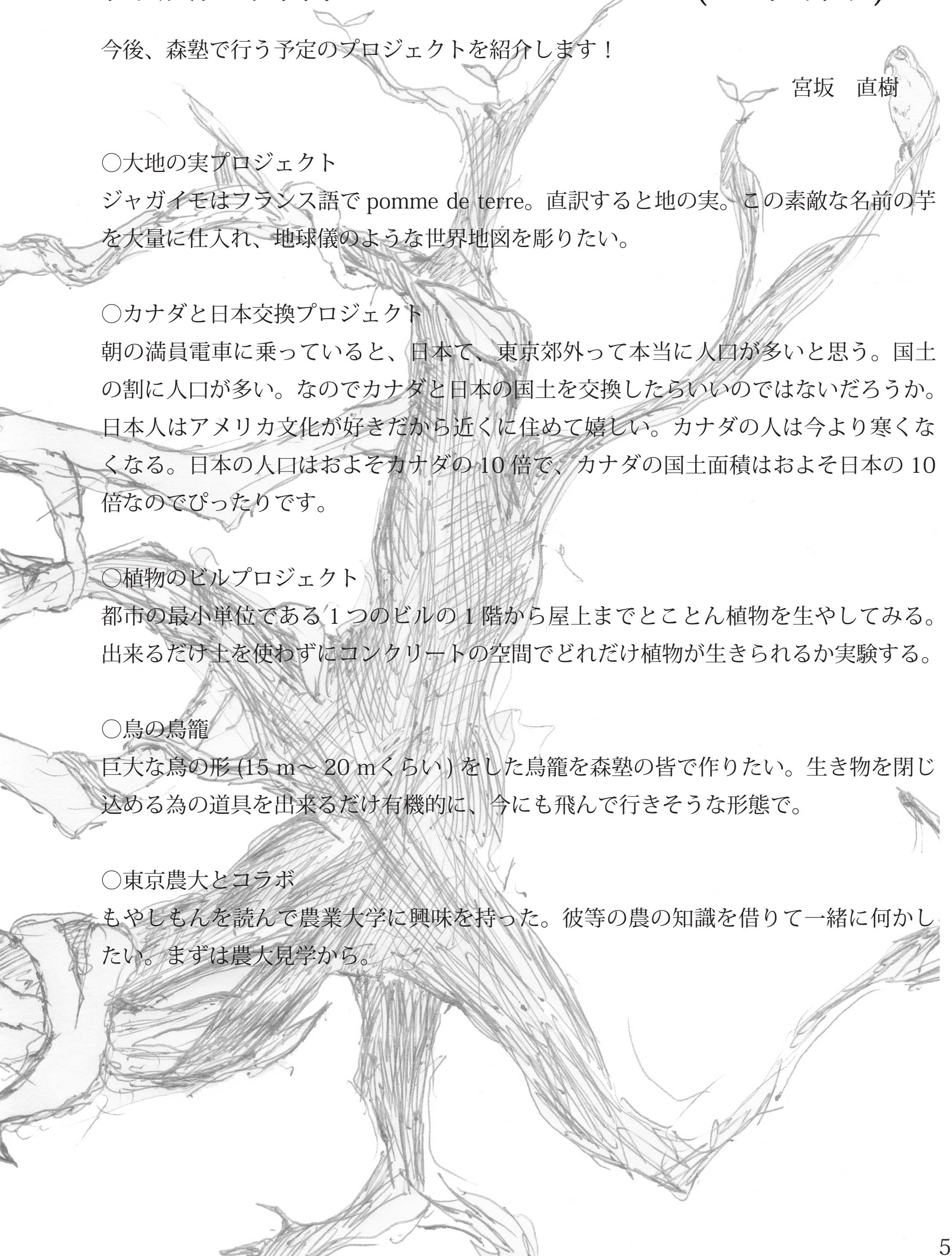
http://ameblo.jp/artboy-36th



# 宮坂直樹森塾プロジェクト(企画書)

今後、森塾で行う予定のプロジェクトを紹介します！

宮坂　直樹



○大地の実プロジェクト

ジャガイモはフランス語で pomme de terre。直訳すると地の実。この素敵な名前の芋を大量に仕入れ、地球儀のような世界地図を彫りたい。

○カナダと日本交換プロジェクト

朝の満員電車に乗っていると、日本て、東京郊外って本当に人口が多いと思う。国土の割に人口が多い。なのでカナダと日本の国土を交換したらいいのではないだろうか。日本人はアメリカ文化が好きだから近くに住めて嬉しい。カナダの人は今より寒くなくなる。日本の人口はおよそカナダの 10 倍で、カナダの国土面積はおよそ日本の 10 倍なのでぴったりです。

○植物のビルプロジェクト

都市の最小単位である 1 つのビルの 1 階から屋上までとことん植物を生やしてみる。出来るだけ土を使わずにコンクリートの空間でどれだけ植物が生きられるか実験する。

○鳥の鳥籠

巨大な鳥の形 (15 m～ 20 m くらい) をした鳥籠を森塾の皆で作りたい。生き物を閉じ込める為の道具を出来るだけ有機的に、今にも飛んで行きそうな形態で。

○東京農大とコラボ

もやしもんを読んで農業大学に興味を持った。彼等の農の知識を借りて一緒に何かしたい。まずは農大見学から。

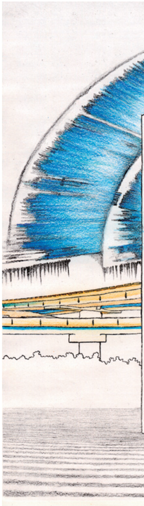
## 暗算的デザインと電卓的デザイン

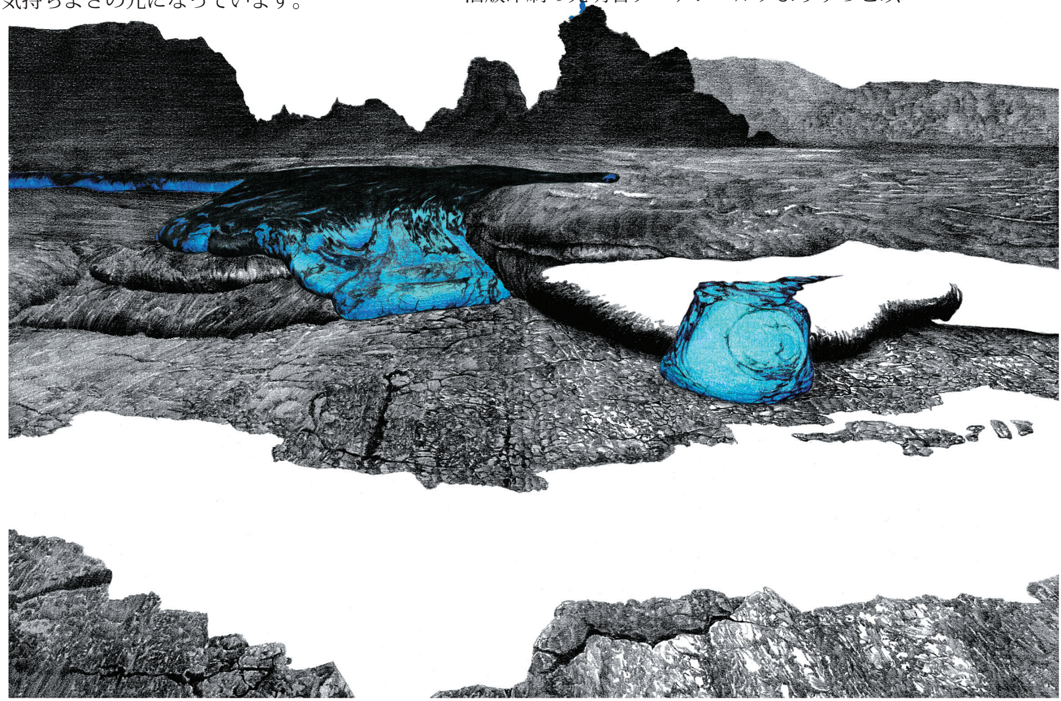
岩城　浩司

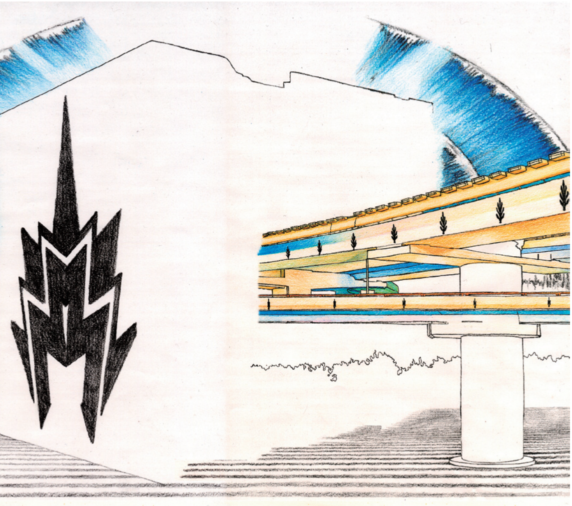
人間には美を感じる能力が生まれながらに備わっています。とはいえ、虹は美しく腐敗した生ゴミは醜い。と言いきれないほどに人間の感覚は曖昧でおおらかなもので、統制されたオーケストラも不規則なカエルの合唱も等しく心地よかったりします。その趣向は十人十色ですが、ほぼ万人に当てはまる条件もあるようで“玉”という言葉に宝物という意味があるように球体は本能的に美しいと感じるようですし、1:1.618 の比率も美しいとされています。このような美の法則はいくつも存在していますし、芸術にかぎらず様々な分野で応用されてきました。物質を分子、原子、素粒子という具合に分解するように、美しい（きもちいい）法則を分解して最小単位までつきつめると以外と単純且つ抽象的であることがわかります。いくつかの“きもちいい”原子の多様な組み合わせがいろいろな美しさや気持ちよさの元になっています。

さて、グラフィックデザイナーの精神世界では美しく組まれた文字組（タイポグラフィー）はダイヤモンドの輝きのように美しく、価値のあるものです。僕はグラフィックデザイン専門ではありませんが極限までシェイプアップされた文字組を観た時に、ただの印刷物としての価値以上の価値を感じたり、その文字が光って見えることがあります、実際それは錯覚なのですがキラキラと輝くものを見ている時と似たような心持ちになるのです。タイポグラフィーやグラフィックデザインの美しさには「これしかない」というような正解というか答えがあってグラフィックデザイナーはその答えを追い求め、さらなる進化を遂げるため日々（今日も）仕事に取り組んでいると聞いたことがあるのですが、僕の眼にはもはやこの分野（文字の用の美の追求）は一応の完成を得たように映ります、個人的には必要に対して進化が過剰だとすら思います。

グラフィックデザイン（ここではタイポグラフィーもごっちゃにしちゃいます）の始まりは活版印刷の発明者グーテンベルクよりずっと以







前からありますが、さかのぼるとキリがありませんので活版印刷発明以降としましょう。それでも活版印刷の発明が 1455 年頃とされていますから 500 年以上の歴史があります。それからいろいろあって 1950 年代の時点でタイポグラフィーの完成度はその理論を素人が理解するのが絶対無理なレベルに達しました。そして実際、目を見張り心奪われるほどに十分美しく官能的ですらあるのです。無地に文字だけで。アルファベット 1 文字だけで。

高名なドイツのタイポグラファー、ヤン・チヒョルトの残した仕事をみるとその卓越したノウハウはもはや秘伝のシステムと呼ぶべきものでした、また、プロダクトデザイナーのルイジ・コラーニはこんなことをのたまいます。「人間の手の形が変わったら、新しいデザインをします。」つまり、用の美はそれを使用する " 人 " にピッタリしっくり寄り添った姿が現れた時点がゴールなので、今日の大量生産時代におけるデザインの目的の一つはその平均値の算出ですから、きっと、もう多くの物の開発が潜在的には終了していて全てのパターンを数値化できる段階のようにさえ思えます。

人間の求める根本的な気持ちよさ、快適さ便利さなどはひとまず解明され尽くしていて、そのソースは世界のあちこちに点在しているのでしょう。仮にそれらを残らず集計してコンピュータープログラム（アプリケーション）を開発したとします。例えば、"30 代で未婚の男性の歯科医の為の携帯電話 " と入力すると数分後（マシンスペックによってまちまち）その形が 3D レンダリングされて取扱説明書が PDF 出力されたり、クライアントと記載事項やノリを入力するとチラシ広告が適切なフォントで文字組され、写真も配置されるようなソフトです。なんとも無味乾燥なソフトだと思われるかもしれませんが、"90 歳のおばあちゃんの為のランドセル " という需要ゼロのプロダクトを作ってみたりして遊ぶこともできます。そして最大の恩恵はセオリーどおりのものをつくることがいかに機械的で人間の創造性とは無関係であるかということが概念ではなく事実として浮き彫りになること！このプログラムが無味乾燥であるということに気づいた瞬間、用の美と芸術性の分離ができたことになります。きっちりと分離ができたところでようやく用の美とそれ以外の別の美しさの相互の浸食を楽しむことがスッキリとできます。

さて、このソフトの名称を仮に " ザ•デザイン "（以降：ザデザ）としましょう。多くのソフトがデザイナーを特殊技能から解放（賛否ありますが割愛）したようにザデザは答えがわかりきった構成美の追求から解放します。その成果物は人間の視覚認識を円滑にさせてくれるものに仕上がります。くどいかもしれませんが、美しいとか、キレイなデザインのための研究と実験は数百年間ものあいだ世界中でなされており、現状、必要十分に完成しています。僕にはそう見えています。

ザデザによって世の中のもろもろのデザインが皆同じものになる心配もないと思います。先述のとおり、このザデザは、無味乾燥なデザインを作り出すことが目的ではなくて、これまでのものつくりの歴史そのもののを一元パッケージにしてわかりきった結果は瞬時に自動で産み出しちゃおう、ルーティーンから脳を解放して作り手をその次の段階へいざなっちゃうよん。というツールです。宝石のように明快でわかりきった輝きのものをこれ以上の時間をかけてつ

くる余地はあまりないと思います。肉体的な鍛錬や反復作業から得ることができる感覚的な成熟は確かにありますし尊いです。それはそれ以外では代用のきかないことに向けられればよいと思います。ダイヤモンドの輝きを解明した先人たちの美の探求は結晶となり、マウスクリックで再現されるようになるので、ユーザーがすることはそれをいかに再構成し新しい命を吹き込むかということ。もしくは何もしないこと。

人は雪の降り積もった純白無垢の庭に足跡を残したくなったり、素朴な雪ダルマをこさえたりする心があります。それは多分そこに命を宿したいからという気がします。下世話な習性かもしれないけれど。。。

ザデザで作られた純白無垢のデザインを得たあと人は何をつくり始めるんだろう。本当に楽しみです。

追記：現在ザデザ的なソフトは実際に開発されつつあります。

## 水を運ぶアートワーク報告

三田村　龍伸

2008 年 8 月 29 ～ 31 日、森塾では夏の合宿を予定していた。2007 年の時点から、決めていたことだった。だが、天候が非常に悪かった。局地的な大雨が何日も続き、愛知では床下浸水をし、ボートが出動するなど。神奈川でも毎日晴れたかと思うと夕方には大雨が降ってくるというような、状態が続いていた。

そのため、29 日は延期とした。30 日は天気の予定を見ながらまた決めようという事で、30 日の朝を待つ。

30 日。朝から天候が優れず、水を集めるアートワークは延期となった。しかし、森塾の皆さんにせっかく予定を空けてもらっているのだから、森塾初の慰安旅行（日帰り）をしようという事になった。

急な予定変更にもかかわらず、 武田や城所が参加。ありがたい。そして車で海老名駅から足柄に向かう。そして結局、車で移動しているならば、水を集められるんじゃない？という事に気がつき、水を集めながら足柄の温泉に行くことにした。

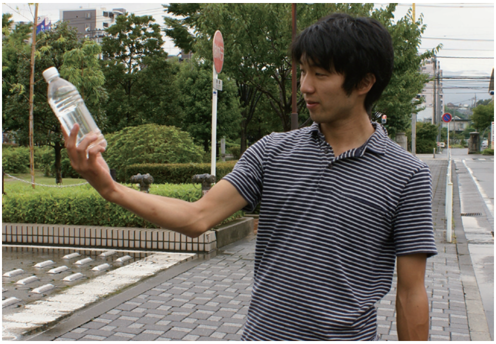
ここで、水を集めるアートワークについて軽く説明をしたい。神奈川県内にある水、これらは様々な種類のものがある。水道水、泥水、海水、湖水、沼の水、雨水、田水、下水・・・。それらの全ては水としてどこかへ流れ着き、蒸発し、雨となって降ってくることのサイクルを繰り返している。(北極など、年間凍っていて循環から逃れている例外もある)

それらの水の循環は惑星単位で延々と続けられている。それらの現象全てを視覚化し、意識化することは難しい。

水を運ぶアートワークはこれらの自然状態で行われる水の循環を人工的に行うことによって自然の循環を追体験することを目的としている。

さて、海老名駅を出発地点として、厚木、足柄 (3 箇所 )、小田原と行く先々で水を採取。計 6 つの水を集めた。

海老名では駅から出発してすぐに田んぼがあったので、そこの水を採取。海老名の田水と命名。厚木では、本厚木駅近くの公園の玉から出てくる水を採取。厚木の玉露と命名。厚木から東名高速に乗って



↑厚木で水を採取する武田

松田へ。

その後、足柄の大雄山方面へ向かう。大雄山のふもとにある茶屋の水道水（井戸から引いている？）の水をゲット。足柄十八丁目茶屋水と命名。

その後、そのすぐ近くにある、温泉につかり、疲れを癒す。( というか、これが最初の目的だった ) そして温泉水をゲット。足柄の温泉と命名。( 本当は温泉の「おん」が木偏なのだが、漢字変換が出てこない。多分、当て字だろう )

温泉後は小田原方面へ。途中、清左右衛門地獄水 ( 湧水 ) をゲット。地獄という怪しげな名前だが、水はすごく綺麗。足柄地獄水と命名。

最後はまた雨が降り出してきていたが、小田原の海で海水を採取。悪天候の中、半ば強引に海岸へ特攻！特攻したのは森塾の暴れん坊将軍、武田歩！荒波の中、波と格闘しながら水を採取！小田原の九死に一水と命名。

↓地獄水をゲットする城所

時間的にも暗くなってきて、撮影も辛いので、その日はそこで終了。続きは次回ということになる。

今回は天候に恵まれず、8 月 30 日の 1 日間しか出来ず、アートワークは未完のままである。9 月 16 日に再度行い、アートワークは終了する。

原稿を書いている時点でまだ 2 日目のアートワークが終了していないので終了が楽しみだ。

※ 8 月 31 日は地上絵アートワークの続編をやるつもりだったが、その予定も天候に阻まれ、延期となった。

↑帰りの道。小田原を発った後、また大雨に。

# 文字の無い日記

文字の居なくなった日記。
絵日記と呼べるものでもない。
本来、日記は自らに宛てるものだが
他者に公開している日記。夏休みの絵日記は先生に公開していた。
そのようなものに近いかもしれない。是非、軽い気持ちで
遊びに来て頂きたいと思います。

東部遊泳線　http://blog.goo.ne.jp/takeda_1985

# 森塾活動情報

## ○デザインフェスタ出展　　2008 年 11 月 8、9 日

日本で一番大きなアートイベント、デザインフェスタに森塾が出展します！是非、ご来場下さい。

場所：東京ビッグサイト　〒 135-0063 東京都江東区有明 3-21-1

りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約 7 分

ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩約 3 分

**地上絵アートワーク改訂版**

## ◆地上絵アートワーク

7 月に行った、「地上絵アートワーク」がユーチューブのおすすめ動画に選ばれ、4 万人以上の視聴数を得ました。詳しくは http://jp.youtube.com/　から、「地上絵アートワーク」と検索して見て下さい。

森塾の活動を影から常にサポートしている 2 大企業、アホズシコーポレーションから新 DVD がリリース！

詳しくはアホズシコーポレーション web ページをご覧下さい。http://ryuusinndo.com/ahozusi/top.html　1500 円。

# 「芸術兄弟」独占インタビュー

三田村　龍伸

　アートはある時代まで宗教、文化、政治、文学、音楽、哲学、数学、化学など、あらゆるジャンルと融合していた。それらは広義の芸術だと思われ、人々はその力を信じた。

　現代、アートはあらゆる宗教、科学、政治、文化の垣根を越える存在になった。それらは世界的な言語になった。世界的言語になるためのアートとは文化や宗教、言語を超えて伝わる、ある種イージーなもの（シンプルな言語、シンボル色など）にならざるを得なかった。現在、世界で活躍しているアートをとてもつまらなく感じている。人間はもっと多様な生き物ではなかったか。数十メートル、数キロメートル範囲内で独自の文化を形成してきたのではなかったか。

　なぜ世界は一つになろうとしているのか。私は世界と融合したいという欲求を幼い頃から持っていた。だが、世界の文化が一つになったり、宗教が一つになったり、またはそれらに絶望した結果、何も信じないという意味で融合を望んだわけはない。人間は社会的な生き物であるから、「一般性」という、コンパスを持たざるを得ない。しかし、生きるか死ぬかというアニマルな状況に立たされたときそのコンパスは役に立つのだろうか。人間が本来持っている野生の魂はやがて飼い慣らされ、殺されるのか。

　森塾の活動は私の芸術活動の分岐点となった。個人での制作活動から、多人数で作っていくことへ。予想可能の事象から、予想不可能な事象へ。時には人に頼り、弱さを隠さず、強がりを減らす。人間が本来持っているはずの自然な魂を求める。

　芸術兄弟の相方である、渡邊敏文は大学１年の終わりの時、転科をしようとしていた。演劇の方へ移ろうとしていた。なぜか、僕はその話を聞いていて、「もうちょっと美術を頑張ってみたら」というような事を言ったのを覚えている。当時、長い付き合いになるとは思っていなかった。すぐ他の道へと行くと思っていたのだ。結局、演劇の方には転科出来なかったという状況がそうさせたのか、彼自身の中で何かの決意があったのかは定かではない。

　何にしろ、彼は大学院まで美術を勉強し続けている。結局、長い付き合いになってしまった。渡邊とは芸術兄弟と名付け、活動を始める予定である。渡邊は真面目で真っ直ぐな男だ。それ故、様々な物を忌み嫌っている。厳しい目で世界を見つめている。妥協を許さぬ、感情だ。彼ほど美術に対して真っ直ぐな人間は今の大学にいない。天下無双状態である。これからどうなるかは分からない。ただ、予想外の事が起こることに期待している。

三田村　龍伸

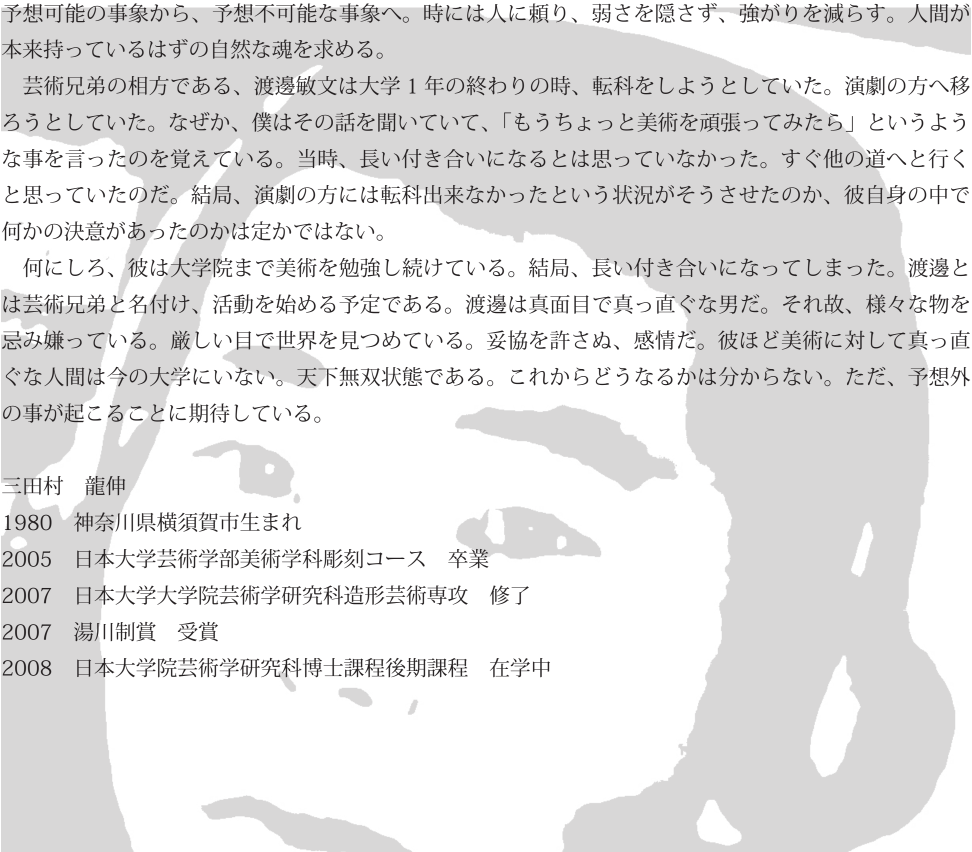
1980　神奈川県横須賀市生まれ

2005　日本大学芸術学部美術学科彫刻コース　卒業

2007　日本大学大学院芸術学研究科造形芸術専攻　修了

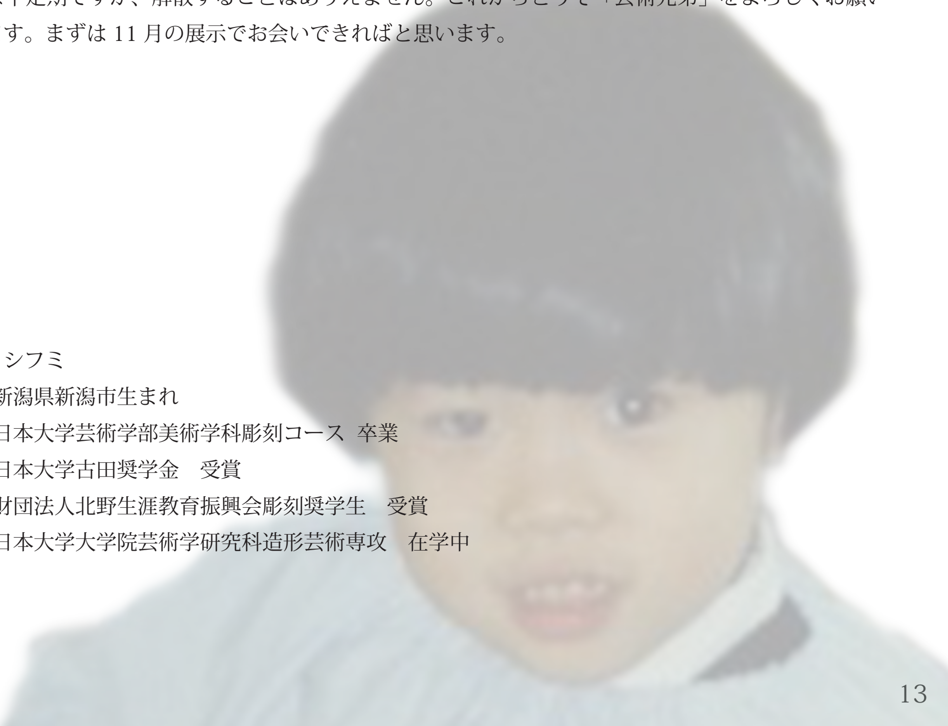
2007　湯川制賞　受賞

2008　日本大学院芸術学研究科博士課程後期課程　在学中



渡邊　トシフミ

　常に美術家として、何がしたいのか、何ができるのかを考えて生きています。常に時代の先を見据えて表現活動をしていきたいですね。
もちろん有名で実力のある画廊の取り扱い作家になれるのならなりたい。自分の表現した作品が高い値段で売れたらそりゃ素晴しいと思います。けど美術家として生きるということは、この世界と戦わなくてはいけないということですよね。
　あきらかに自己満足の作品は嫌いです。自己の欲求や衝動を表現することは大切なことだし、ただ続けていくことだけが目的ならそれはそれで良いとは思います。ただ私は美術家として、その作品が他者にどう影響しているのかという意味を求めたいですね。個人的なことでは終われない、昔から言われているけれど、これからの時代もっともっと芸術の力が必要であると確信しています。もはや美術は狭い世界の話しで成り立つことなど許されません。確実に社会に対して表現していきたいですね。この時代に生まれてきて、芸術家という選択をこれからも選ぶ以上、とてつもなく責任重大だと私は考えています。いても、いなくても困らない美術家だからこそです。
　私は運が良いですね。三田村龍伸さんと出会えたことに感謝しています。意外に古い付き合いですから。お互い色々な考え方を持っていますし、好奇心もあります。「芸術」とは何かという問いに、死ぬまで追求できる最強最高の相方であることは間違いないと思っています。私は少しでも色々な意味で良き弟でありたいと考えていますね (笑)
　活動は不定期ですが、解散することはありえません。これからどうぞ「芸術兄弟」をよろしくお願いいたします。まずは 11 月の展示でお会いできればと思います。



渡邊　トシフミ
1985　新潟県新潟市生まれ
2007　日本大学芸術学部美術学科彫刻コース 卒業
2007　日本大学古田奨学金　受賞
2008　財団法人北野生涯教育振興会彫刻奨学生　受賞
2008　日本大学大学院芸術学研究科造形芸術専攻　在学中

# 森山雅智さんの Q&A

今回の森羅番帳 vol.3 の表紙を撮って下さった、写真家の森山雅智さんの元に来た沢山のファンレターと質問に答えてくれるコーナーだぞ。

**> Q1、写真家になったきっかけを教えて下さい。(いちごちゃん・5 歳 )**

２０代半ばになって「僕が一生持っていたい道具はカメラだ！」と思ったのがきっかけです。

もともと思い出話が好きだし、その話をするのも好き。 思い出を残すツールでは最強の相棒だと思っています。

仕事、プライベート共に「良き思い出つくり」として写真とは付き合ってます。

**> Q2、写真家の大変なところを教えて下さい ( ウルトマンさん・0.001 歳 )**。

写真という名前を基準に話をするとします。

いったい誰が日本語に訳したのか？真（まこと）を写すで「写真」。 まことにお固い。 一枚一枚の写真に何が真なのか確認する作業。

... 写真はあくまでテクノロジーである事 ...。

世界をカメラという機械で、カメラの画角でトリミングしている時点で そのちょっと外で起きていることは、ない事になってますからね。

例えば、もう今では珍しくないモデルさんの肌を修正した写真 ... 。ではコレは嘘？ メイクだけでは嘘でないのか？だったらスッピンで ... 。

僕は必要と判断すれば、モデルさん自身の画像修正もトコトンします。 それは単に肌をつるつるにするという事ではなく、あくまで不自然に見えない所までやり、本来伝えたい事を明確にするために修正するという事です。

多くのファッション誌では、購買意欲を掻立てる写真を求めるけど、職人さんなどの取材では、写真に求められるものがまた全然違いますね…。

その写真に求められていること、役割に忠実になる事、当たり前なのですが、これが非常に難しい所かと ...。

**> Q3、写真家の一週間はどんな感じですか？休みは多いのですか ( ネコちゃん・9 歳 )**

ありがたい事に、ほぼ毎日のように写真に触れる機会があります。そういう意味では休みは少ないですね。

僕は、この仕事では珍しいのですが、人物も物も撮らせて頂いているので たくさんのお仕事と日々新しい人とロケーションに出会う機会に恵まれています。

という訳で休み（写真に触れない日）は、ほぼないですが、ない日は自宅から出ず、ボンヤリ過ごします。

**> Q4、写真家の最期を教えて下さい。悲劇的な人が多いのですか？ ( 秋刀魚正夫さん・66 歳 )**

写真家は悲劇的なイメージを多く持たれてるんですかね？　だとすると僕は真逆です（笑）。 楽天家ですし人生とても楽しい。

僕の写真家としての最期は、生き残りの仲間と一緒に集合写真。 背後には、先に逝った人が合成ではなく亡霊で写って欲しい（笑）。

**> Q5、好みの女性はどんな人ですか？ ( 奈緒子 ( 森山ファ**

**ン)・15 歳)**

好きになった人♥

**> Q6､よく出現する場所はどこですか？(トレーダーさん・49.195 歳)**

東京だと原宿､千駄ヶ谷周辺。神奈川だと逗子海岸周辺。

夏でも基本長袖シャツ、長ズボン、ローファー姿でうろついてます（世の中では、ラフな格好だと撮影出来ない場所がある故にです)。

**> Q7、写真を始めたいのですが、おすすめの写真機を教えて下さい。(ちーちゃん・2 歳)**

良く聞かれるんですけど、撮りたいものとライフスタイル等々分からないと本当はお薦めは出来ません、カメラも安くないですからね。 それに写真屋さんではないので自分が使用する機材以外の新商品は知らないのが現状です(笑)。

ただ、なしっていうのも何ですから ...。強いて言えば写真は、何かが起きている場所で、そこで起きている事を伝えるに見合った絵を抑える事が出来る事が大事だと思うので ...。 おしりのポケットに入り水中 10m まで使えるオリンパス「μ（ミュー）1030SW」かな ...。

※大型電気店で 4 万円前後で販売してます。

**> Q8、得意の写真撮影方法を教えて下さい。(菊三さん・199 歳)**

柔らかい雰囲気の光を造るのが得意(好き)です。

**> Q9、レンズとフィルムとファインダーどれが一番好きですか？(コダックルさん・99999 歳)**

写真撮影では、どれもとても大事なのですが、しいて言えばレンズです。

フィルムとファインダーは選択肢が一つでも我慢しますが、レンズの選択肢は残して欲しいです。描写力に差が出過ぎるのと、これ以上下がれないのに画面に収めきれない！とかあそこが撮りたいのに望遠がないと撮れないでは耐えられません。

**> Q10、また森羅番帳に載って下さい。(三田村龍仲さん・27 歳)**

喜んで。 これからも森羅番帳の良き想い出創りに関われたら幸いです。ごきげんよう。

# 愉快な森の仲間達

第2話　廣瀬　麻衣

一方その頃・・・・
ねぇそろそろ帰ろよ お母さんに怒られちゃうよ
うるせーな 一匹くらいカブト虫捕らえなきゃ カッコつけらんねぇだろ
あれ？・あんな所で工事してるよー
くそーっっ たくっこんな所で木なんか切ってるから カブト虫が逃げんだよ
ダッ
んっ？・何か あそこにいるよ!!
死っ死んでる？・
あっ!! 息してるよっ
やべっ!! 怪我してるぜ!!
どっどうしよう
とりあえず 急いで連れて帰ろ!!
つづく

## 海老名カイロプラクティックセンター

EBINA Chiropractic center

NPO法人東洋カイロプラクティック普及協会会員
横浜カイロプラクティック学院認定院

病気の根源は生命エネルギーの低下や身体のゆがみにあると考えます。それら生命エネルギーの低下やゆがみが、私たちに備わっている「自然治癒力」を弱らせ病気にしてしまっているのです。自然治癒療法とはその生命エネルギーを正常化し、人間に本来備わっている自然治癒力を高める方法のことです。

当センターではカイロプラクティック、アーユルベェーダ、YOGA(呼吸法)を組み合わせております。病気を治すことはもちろんですが、病気になりにくい身体につくり上げていく予防医学に重点をおいております。各々の体調や症状を毎回確認しながら、体に負担をかけず安全に安心して受けられる施術をいたします。

地球がボロボロで自分だけ健康なんてありえません。
地球と健康がイコールだということ きっても、切り離せない関係だということ
海老名カイロプラクティックセンターは健康と地球環境を意識したライフスタイルを実践していきます。　　　神奈川県海老名市中新田 1-13-18　　TEL　046 − 234 − 4645

# [ THE G　FASHION SHOW　Vol.2＋Salud]

**数々の熱いイベントをこなす最強集団Saludとのコラボにより実現する新たなるTHE G Vol.2**
**最高の音楽、最高の映像、最高の出演者、最高の仲間と共に**
**11月1日土曜日17:00～21:00　　club FUSIONにてFashion showが繰り広げられます！**
**新しいクラブイベント「THE G　＋　Salud」是非起こし下さい！**

### What's THE G

誰しも、やりたいけれど勇気がもてなかったり、
環境が許さなかったり、様々な状況下で諦めてしまっている、
自分の夢や希望。
・自分の作品をより多くの人に見せたい。
・多くの可能性を持った人がいるはずなのに、

埋もれてしまっている、可能性を試す場がない。勇気がない。
その可能性を試し、発展させ成長していく。それを一人では
困難なことも皆で共有・協力して実現させて行けば形となり、
すばらしいものが出来ると思います。
愉快な人(Gey)をコンセプトに、幅広く自分達の新しい挑戦をし
「様々な可能性や、アイデア」を形にする為、自分へ挑戦し、
皆で協力しあって実現させていきます。

これらをコンセプトに夢を広げ、実現させていくためのグループを
目指しています。

### Show's theme

基本コンセプト「大人気ない大人な服」
人生は物語です。
着る人、其々の心のストーリーにはまるような服作りを目指します。
メンズ、レディースのファッションを超え、新しいファッションスタイル
などの構築などを目指します。
GAY=愉快な人々=元気で、陽気な[graffiti]を表現していきます。

バイオリンとサックスの生演奏でSHOWをお楽しみ下さい。

### Performer and Staff

| | |
|---|---|
| DJ/MC | JOE/DARYL/MA-BO |
| VJ | HIRO |
| Singer | KAZU/SOI/and more |
| Violinist | Shoko/and more |
| Make up | Ake/Maiko/and more |
| Hair | Sato/and more |
| Pattern maker | YUKI/J/Ryousuke/Doki |
| Illustrator | Masaki/Gori/Ake |

**詳しくは　HPで！！！**

http://gkiki.com

HE G　HP
ttp://gkiki.com

Salud　HP
http://music.promole.net/salud/

Club FUSION
http://clubfusion.jp/

## 後書き

　今回もまた、一段とパワーアップした内容でお届けできたと思っております。
　森塾の活動もそろそろ 1 年が経ち、様々な活動もやっと軌道に乗ってきました。
　今後も頑張って編集していきたいと思いますのでよろしくお願いします。　　　　　　　三田村　龍伸

http://ryuusinndo.com/sinjyuku/top.html

森塾 T シャツ発売中詳しくは森塾 web ページで

○スポンサー様 ( 敬称略 )

vacance/ 関根和行 / 海老名カイロプラクティック / 明上山幾代 /

○森羅番帳を置いて下さっている場所 ( 敬称略 )

湘南台ギャラリー(東京･六本木)　/東邦画廊(東京･京橋)　/一枚の絵(東京･銀座)　/東京都現代美術館(東京・江東区)　/INAX ギャラリー ( 東京・京橋 )　/Tops　cafe（東京・新宿）　/ パルコ ( 東京・亀戸 )　/ 現代ハイツギャラリー ( 東京・下北沢 )　/ 日本大学芸術学部所沢校舎 ( 埼玉・所沢 )　/ 農舞台 ( 新潟・十日町 )　/ 海老名カイロプラクティック（神奈川･海老名）　/ALI　cafe( 神奈川･海老名 )　/ ギャラリー慶 ( 神奈川･本厚木)　/メルシャン軽井沢美術館(長野･軽井沢)　/清里現代美術館(長野･清里)　/小海町高原美術館(長野・小海 )

※発行部数が少数のため手に入らないこともあります。その際は森塾 web 版を見ていただけると幸いです。

**森羅番帳編集組**

寄稿・絵、写真提供

三田村龍伸、岩城浩司、坂井亮円、宮坂直樹、武田歩、廣瀬麻衣、森山雅智

表紙

森山雅智

総合デザイン

三田村龍伸

森羅番帳 vol.3　2008 年 9 月発行

発行：森林環境保全式制作活動学習塾 ( 森塾 )

vacans inc.
photographer/stylist/graphic designer
03.6380.4004
http://vacans.jp